

総務常任委員会

幸手市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例（議案第1号）

問 特別職報酬等審議会について、平成9年以降開催されなかった原因は。

答 この時期の地方公共団体を取り巻く状況を考えると、市町村合併や、あるいは各市町村において財政状況があまりよくないということから、市長等が、自主的に期限を切って給料等を下げている条例を定めているところもあった。幸手市においてもそういった事例があったことも全て含めた上で開催されなかったという認識はしている。

問 幸手市の財政状況と報酬の関係性は。

答 報酬を定める場合は、幸手市の予算規模や財政規模、人口規模等を類似団体と比較し、今回の報酬の改定の中で反映している。

平成28年度幸手市一般会計補正予算（第5号）（議案第14号）

問 臨時財政対策債と財政力指数の関係は。

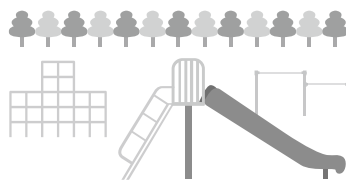
答 財政力指数が低い、イコール普通交付税が交付されるという仕組みが今の財政制度である。臨時財政対策債は、地方交付税を、借金という地方債の形で振り替えるとしているので、地方交付税（普通交付税）として考えている。財政力指数が下がるイコール交付税の算入額が増えると認識している。



平成29年度幸手市一般会計予算（議案第20号）

問 民生費県補助金の減額は。

答 平成28年度には、放課後児童クラブのうち吉田小学校、八代小学校、行幸小学校の3カ所を工事しているが、その補助金を約2500万円見込んでいた。そのほか、扶助費等に係る補助金が若干減ったものがあり、合計すると3300万円の減額になる。



問 幼稚園使用料の減額は。

答 平成28年度当初予算の算出時と比較して、児童の数が約11人減っている。一日あたりの保育料が1万円なので、12カ月だと影響力がかかなり大きくなっている。

また、使用料についても、平成28年度当初予算編成時には44人で見込んでいたが、平成29年度はマナス19人の25人を見込んでいることも減額の要因である。

問 軽自動車の減免は。

答 幸手市においては、身体障がい者等に対する軽自動車税の減免台数が155台、公益のため直接専用すると認める減免が17台、貧困により生活のため公私の扶助を受ける者の減免が5台、以上の177台である。

問 休日・夜間受付業務委託の状況は。

答 本年度、2年目になるが、夜間の市民からの問い合わせ等に、非常に柔軟に対応ができています。一番多いのが、犬猫の死体の連絡が夜間にかかってきている。

その他として、道路の騒音などで、実際問題幸手市では行っていない場合もあるが、担当課の方に問い合わせればその対応ができる。

問 婚活セミナーの業務委託は継続して取り組んでいくのか。

答 一過性で終わらせることでは効果は出てこないもので、何らかの形で引き継いで実施していくよう検討する。



文教厚生常任委員会

幸手市男女共同参画を推進する条例（議案第6号）

問 他の自治体と比較して、幸手市が独自に規定した内容は。

答 女性の活躍という部分であり、「特に、女性活躍の推進が図られること」「女性の活躍を推進するため」という言葉を条文に入れた。

平成28年度幸手市一般会計補正予算（第5号）（議案第14号）

問 保健衛生総務費の検診委託料を減額補正した理由は。

答 各種がん検診業務については、入札をしたことから、検診単価が下がったこと、また、平成27年度まででがん検診の無料クーポン券が終了したことにより、若干、受診者数が減少したことによるものである。

平成29年度幸手市一般会計予算（議案第20号）

問 集会所整備事業補助金の支出を予定している事業内容、補助限度額は。

答 幸南会館のトイレ改修事業、南1丁目自治会館の屋根修理修繕事業、響瀬集会所のトイレ改修事業、神扇集会所改修事業の4件で、100万円を上限に事業費の二分の一の補助金である。

問 生活困難者自立支援扶助費の学習支援業務委託料の内容は。

答 県が実施していた事業が、平成27年度より生活困窮者自立支援法の事業となり、市で実施することになったもの。

生活保護を受けている家庭の中高校生が進学をするために、その学習の支援をするもので、平成29年度については、生活保護世帯の中高校生以外に、生活困窮世帯のお子さんも広げて事業を実施する予定である。

問 ドローンの購入予定時期や使い方は。

答 夏までには購入を考えている。災害で職員が実際にその現場のほうに行けない場合などに、上空からドローンで情報を得ることでの使用を考えている。

問 ドローンの災害時以外の活用は。

答 有効活用を図るため、法的なことがクリアできれば、イベントなど多方面でも使用を検討したい。

問 吉田幼稚園園舎耐震補強工事の内容は。

答 吉田幼稚園園舎3棟、全て耐震基準を満たしていないことから、平成29年度は、日中園児がいる保育棟のみの耐震補強を行う予算を計上した。



平成29年度幸手市国民健康保険特別会計予算（議案第21号）

問 埼玉県健康マイレージ事業とは。

答 県が健康ポイント制度を取り入れて、ウォーキングを中心とする健康増進を図っていく事業である。市では負担金の他に、歩数計やタブレット端末等を購入するための予算を計上した。



平成29年度幸手市介護保険特別会計予算（議案第23号）

問 平成29年度は、保険給付費の予算が計画よりも減少した原因について。

答 計画では、地域密着型の特別養護老人ホームの開設を、平成28年4月と見込んでいたが、開設には至らなかったため、保険給付費のうち地域密着型介護サービス給付費が減額になった。

